日本キリスト教団 東金教会〔４１〕

2019年10月20日　聖霊降臨節第２０主日礼拝

年度目標　《キリストに根を下ろして生きる》

聖句　キリストに根を下ろして造り上げられ、教えられた通りの信仰をしっかり守って…　コロサイ2章7節

【礼拝式次第】

司式　藤田
奏楽　中里
受付　鈴木
案内　三枝
名札係　土屋
礼拝感謝祈祷　土屋
〃　〃　武田

前奏　中里
讃美歌１５　一同
使徒信条５６６　〃
交読文４０　司・会衆
主の祈り５６４　一同
聖書　ルカ福音書１９：１１～２７　司会者
祈祷　藤田
新聖歌４６５　一同
み言葉の伝え　朴
〈誤った恐怖心〉
讃美歌１４３　一同
献金
礼拝感謝　土屋
〃　〃　武田
報告　藤田
頌栄５４１　一同
祝祷（派遣）　朴
後奏　新聖歌５８　聖歌隊

【集会案内】

聖書研究祈祷会　10月23日(水)午後7時半～
早天祈祷会　月～金7時(除祭日)メーヤー館
山田台集会　10月22日(火)午後7時半～
交わり会　本日礼拝後
婦人会・信交会　交わり会後
聖書輪読会　10月27日(日)9:50-10:10
礼拝準備祈祷会　10月27日(日)10:25-10:30

【報告】

☆本日は交わり会がございます。ご出席下さい。また、交わり会後婦人会、信交会、青年会も持たれます。お覚え下さい。

☆本日中村牧師は富里教会創立７０周年記念会に出張致します。

☆先週の神学校日献金は総額５２、０００円でした。感謝致します。

☆幼・保園入園児募集の願書配布が開始(15日より)されました。ご加祷下さい。

☆バザー献品を受け付けております。ご献品宜しくお願い致します。２７日にバザー値段付けを予定しております。宜しくお願い致します。

【10月20日～10月26日誕生者】

○津久井　姉　○長野　姉　宮路　兄
○趙　月姉

※互いに主に繋がる枝々として祈り合わせて参りましょう。

【先週集会状況】

集会名	男	女	計	早天祈祷会 日	男	女	計
主日礼拝(10/13)	１３	２６	３９	10/14			
聖研祈祷会(10/16)	2	4	6	10/15	1	1	2
聖書輪読会(10/13)	1	1	2	10/16	1	1	2
教会学校(10/13)	6	１０	１６	10/17			
				10/18	1	1	2

主日礼拝献金(10/１３)……２７,９１０円
教会学校献金(10/１３)……６,７５０円

【今日のメッセージ】

題　［誤った恐怖心］
聖書　ルカ福音書19:11～27

1・実話に基づいた譬

2・譬を聞くべき人

3・操られる恐れと感動の畏れ

【次週(10月27日)礼拝式案内】

み言葉の伝え〈恵みの流れ〉
聖書　ガラテヤ書３:９～１４
交読文４１
讃美歌５９番　３５５番
新聖歌５３３番

【次週(10月27日)礼拝式当番者】

御言葉の伝え…中村征一郎
司式者…井上
奏楽者…中村
受付者…今井
案内者…藤本
名札当番…宮中
礼拝感謝祈祷…井上
〃　〃…武田
cs お話し…岡部
会堂清掃者…武田
〃　〃…
花係…小林
看板書き…藤田

【聖書から】

あなたがたに一つだけ確かめたい。あなたがたが「霊」を受けたのは、律法を行ったからですか。それとも、福音を聞いて信じたからですか。

ガラテヤ書三章二節

あなたがたに一つだけ確かめたい！

パウロは福音の道から外れたガラテヤの信徒たちに尋ねる。彼らは神を求める道から離れたわけではない。私たち信仰者がしばしば経験するように二、三度教会にきたけれどもう教会に来なくなったとか、一時は大いに教会が盛り上がり大勢の人が教会に集ったけれども今は…、といった状況が現出したわけではない。ガラテヤの信徒たちは相変わらず熱心である。ただ信仰の質が変わったというのである。十字架の福音を聞く信仰から外れ、行いの信仰に変わったのである。行いは私たちの血をわきたたせる。何かに熱中し、仲間と行動を共にすることの喜びを経験したことも私たちにはあるのではなかろうか。信仰においてもそのようなことはある。特に若いとき、教会に入り浸るといった経験を持った人は幸いだと思う。ガラテヤの教会もそんな状況にあったのかも知れない。ただ其処に置ける喜びの分け合いの質が変質した。キリストの十字架の贖いを聞き、感謝する信仰から行う信仰へ、でなく、律法を源泉とする―ユダヤ人と同じく割礼を受け、律法を開き、律法を行う業―に彼らの重点が変質したのである。福音信仰から律法信仰に変わるのはただの一歩の踏み間違いである。イエス・キリストの恵みを大事と思い、その恵みに応える心が動機となり、それが行動の基となる信仰とそうではなく自分の正当性を自分で確証しようとする、あるいは自分がヒーローとなるための行いとはその質は違う。前者は力の源泉が主イエスにあり、主イエスが自分の主となり、そこから流れ出される聖霊を受けることを信頼しての業であり、後者の行為の源泉はあくまで自分であり、自分の力への信仰から抜け出ることができない。そこでは主イエスの力は自分が万能になるための道具にすぎなくなってしまう。不十分でも良い。律法の力でなく、主より与えられる聖霊の力を信じるものになりたい。

【礼拝心得】

①礼拝は前奏から後奏までを守る。
②入堂したら私語を交さず、前奏までの時を黙想する。
③遅れてきた者は静かに入堂し、特に祈祷の時は入堂を控え、その場で共に祈りを守る。
④礼拝後は互いに挨拶を交し、交わりの時を持つ。
⑤各自週報棚を整理し、欠席者に週報を届ける。